

(様式第 7 号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成 29 年 6 月 19 日

作成者：池田 耕太郎

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋川カレッジ 30 期会	
事業名	日時 (期間), 場所
ウイザスあしやフェスタ 2017 チャリティ バザー	平成 29 年 3 月 12 日午前 10 時～午後 3 時 男女共同参画センターウイザスあしや
内容 (実績) ＊実施したことを具体的に	受益者数
・一昨年、男女共同参画事業の内容に賛同し、30 期会としてグループ登録。 ・一昨年、昨年に引き続き今年もフェスタに協力することを討議決定。 ・30 期会の会員にバザー用品の提供を呼びかけ、多数の寄贈品が集まった。 ・当日、30 期会のオカリナ同好会がオープニングセレモニーを飾った。そして 2 名が歌を唄った。 ・バザーや喫茶コーナーを 30 期会の女性が手伝った。	(入場者 約 400) 人
	参加者数
	(30 期会から 20) 人
成果 (社会へのインパクト) ＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・フェスタを通じてウイザスあしやが男女共同参画社会を実現するための施設であることを一般市民に知ってもらえた。またバザー収益金 152,910 円全額を DV 被害者支援団体 WS ひょうごに寄付することができた。 ・登録グループの活動パネル展を通じて芦屋川カレッジ 30 期会の活動を知ってもらえた。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
・今後とも、人と人が出会い、ふれあい、学び合う場としてのウイザスあしやの活動に 30 期会として出来るだけの協力をしていきたい。 ・芦屋市男女共同参画センターウイザスあしやが、誰もが性別にかかわらず社会の対等な構成員として、その個性と能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるとともに、均等に責任を担い、幸せを分かち合う男女共同参画社会を実現するための拠点施設であることを多くの人に知っていただくよう 30 期会としても努力したい。	